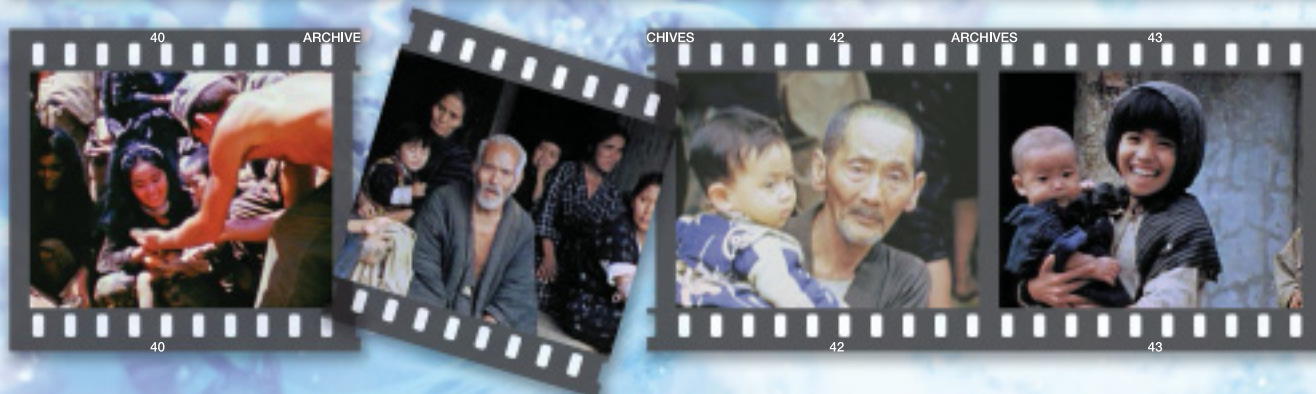


アーカイブズ

ARCHIVES

沖縄県公文書館だより 第35号

平成20年8月22日発行



沖縄戦関係映像フィルム

新館長 メッセージ



沖縄県公文書館 館長
本間 勝

「情報公開」「記録の紛失」など、良くも悪くも記録をめぐる話題が注目を集めています。記録は私たちにとって身近な存在です。家族の写真、映像、日記など個人や家庭からも多くの記録が創り出されます。社会の営みの中で、そして組織の活動においても日々、記録は生み出されます。情報化社会で記録は爆発的に増えました。しかし、めまぐるしく変化する現代社会の中で知らぬ間に失われる記録もまた多いように思います。他方、現在ある私たちの社会は、過去の記録の積み重ねによって成り立っている、と言っても過言ではありません。過去の記録を糧に新しい知識や見解が生まれ発展を遂げている一面があります。

沖縄学の先達、伊波普猷が「チエの警句を翻案した琉歌があります。」

「深く掘れ、己の胸中の泉、余所たよて水や汲まむごとくに」

この琉歌には、将来を展望する上で郷土の歴史を深く知ることが重要であるとの思いがこめられているように感じます。

当館は、米国統治下の自治の記録である琉球政府文書、約十数万簿冊を広く利用していただくことからスタートしました。さらに開館後は、米国において、沖縄を統治した米国側の公文書を収集、また沖縄の個人や団体の寄贈資料をそのコレクションに加え、所蔵資料の充実を図ってきました。沖縄の戦後史を学ぶ方が、必ず訪れてくれるような公文書館になったと自負しております。

さらに、現代の公文書館には新しい役割が求められています。当館では、公文書館法の趣旨にのっとり、行政文書を公開することによって行政の説明責任を果たし、開かれた社会の確立に貢献するという使命を果たすため、様々な取り組みを行っています。

歴史を跡づける公文書などを収集・整理・保存するとともに、広く県民の利用に供し沖縄県の教育、学術、文化の振興並びに行政に寄与するために今後も努力を重ねていきます。

多くの皆さまのご利用をお待ちしています。

この人に聞きました

新城 鐵太郎さん 2

本誌「アーカイブズ」第33号にご登場いただいた元琉球政府職員の新城鐵太郎さん。今号では引き続き新城さんにうかがった琉球政府広報写真についての情報をご紹介します。

アイゼンハワー来沖写真

一九六〇年六月十九日、アメリカのアイゼンハワー大統領が来沖しました。その時、新城さんは、琉球政府の情報課のカメラマンとして大統領歓迎の連の写真を撮りました。それらの写真は、公文書館に収められています。撮影場所などについて、正確なことや詳細が不明になっています。ものがありません。今回、撮影者である新城さんからこれらの写真について提供していただいた情報をご紹介いたします。

写真1は、嘉手納空軍基地の待合室のことです。大統領の到着を関係者が待っているところ。よく見ると壁に紅型らしき着物がディスプレイされ、天井からは反物がさがっています。当時、嘉手納飛行場では沖縄の土産を販売し、米軍人やその家

族が土産に買ったとのこと。写真2は、琉球政府の行政庁舎二階の車寄せから二階の行政主席執務室へ通じる廊下へと上がる階段。大田政作主席がアイゼンハワー大統領の先に立って案内をしています。このことは、当時の行政職員には自明のことでしょうが、それだけに後に残りにくい情報といえます。

さて、写真や動画といった画像資料は、文字では表現できないさまざまな情報が含まれています。画像資料がよりよく活用されるためには、そこに写っている事物や出来事に関する情報、特に人物、場所、施設・建物、機会、年代についてのデータが、検索においてもその後の利用においても基本的なものとなります。

しかしながら、それらの画像情報に関するデータが失われた場合や、始めから記録されていない場合、それらを調査・復元するのは多くの場合、困難な作業です。画像が数十年前に撮影されたものである場合、手がかりを得る最も良い方法は、その当時実際に知る人に聞いてみることです。人物や場所についての手がかりがいとも簡単に入手できることがあります。もちろん、記憶違いが起きる可能性も否定できませんから、どのような場合でも必ず決定的な情報を得るといふわけにはいきませんが、有力な方法には違いありません。今回取り上げた二連の写

真の場合、写真1の撮影場所が不詳で、写真の説明文（撮影者よりもずっと後の担当者が整理を試みた時のものと思われる）には、「那覇飛行場ビル？」と疑問符がつけられていたものです。琉球政府広報写真を見ていく新城さんの視線がそこで止まりました。「いや、違うね。これは嘉手納だよ」。場所の記憶が一瞬にしてよみがえった新城さんの自信に満ちた声でした。



(写真2) 写真番号:000116 1960年6月19日



(写真1) 写真番号:000123 1960年6月19日

アーカイブズ フロッピー

今年度も公文書館には県内外から多くの方々が来館なさいました。老人会のグループ、同業種の方々、公文書館初体験の中学生まで顔ぶれはバラエティにとんでいます。これからも大いにそして気軽に来てくださいな。

**(社)日本新聞協会の
皆さん来館**

五月二十九日、(社)日本新聞協会に加盟新聞社の皆さん、四十四人が視察のため来館しました。デジタル資料を担当されている方が多く、公文書館で収集整理した米国収集写真や琉球政府写真の管理について特に関心を寄せていらつしやいました。



**芳賀町・北谷町
公文書館の皆さん来館**

六月三日、栃木県芳賀町教育委員会から富田健司さん、北谷町公文書館から外間より子さんが公文書館業務調査のため来館しました。富田さんは公文書館、図書館、博物館の複合施設である芳賀町総合情報館(仮称)建設プロジェクトの公文書館部門担当者、外間さんは北谷町公文書館

で長年、公文書管理に携わっている方です。



外間さんと富田さん

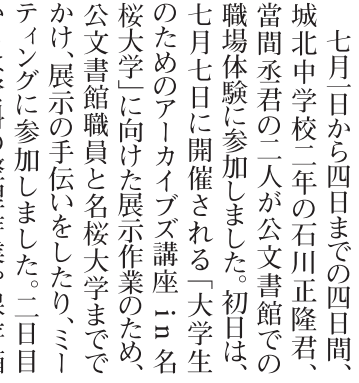
**天草アーカイブズの
皆さん来館**

七月八日、熊本県天草アーカイブズから金子久美子館長、管理係主事の橋本竜輝さんが公文書館運営、公文書の管理に関する研修の一環として公文書館を訪ねました。とても熱心に質問をされたり、施設内を見まわられたり、アーカイブズに対する熱意が伝わってくるお二人でした。



職場体験

七月一日から四日までの四日間、城北中学校二年の石川正隆君、當間承君の二人が公文書館での職場体験に参加しました。初日は、七月七日に開催される「大学生のためのアーカイブズ講座」(コ名桜大学)に向けた展示作業のため、公文書館職員と名桜大学まででかけ、展示の手伝いをしたり、ミーティングに参加しました。二日目からは資料の整理作業や保存箱の作成、閲覧カウンターでの仕事などを体験しました。学校生活とは大違いの体験、二人はどう感じたかな？
今度は友達を案内して来てね。



資料運搬用の箱を作成した當間君と石川君

知っていましたか？

軍雇用員カードは
公文書館にあります！

公文書館では、一九四六年(昭和二十一年)～一九六六年(昭和四十一年)までの軍雇用員カード(在沖米軍施設で働いていた方々の勤務記録)を所蔵しています。この期間、軍で働いていたことがあり、年金受給やアセス(石綿)関係問題のため過去の勤務記録が必要という方、公文書館所蔵軍雇用員カードのなかにあなたのものもあるかもしれません。

所蔵を確認するためには、お名前、生年月日、軍勤務当時の本籍地の情報が必要となります。戸籍謄本等の書類が必要な場合もありますので、来館前に二度、閲覧担当までお電話ください。

新収蔵資料紹介

**沖縄戦関係
映像フィルム**



米国立公文書館から収集した三十四本の映像フィルムを公開しました。(二〇〇八年六月十九日)今回公開したのは、時間にして合計五時間十二分。その中には戦闘の様子や収容された住民の様子を写した鮮明なカラー映像が含まれています。
ワシントンDC郊外にある米国立公文書館新館では約二、五〇〇本の沖縄関係フィルムが確認されており、そのうち少なくとも一、〇〇〇本が沖縄戦関係です。これまでに当館をはじめとする県内の各機関が収集したものは約三、八〇〇本で、全体の約四割弱です。



収容所の子供たち【U20-23】

“日本兵に足首を切断された”少女【U20-17】

轟の壕から救出される兵士や住民【U20-22】

米兵を前におびえる粟国島の住民【U20-15】

特集

沖縄県公文書館ホームページ 「ねっとOPA」 が新しくなりました。

沖縄県公文書館は、1998年(平成10)7月1日のホームページ開設以来2度目の改装を行いました。

利用者の皆さまにとってより使いやすく、また魅力的な情報を配信できるよう、これからも努めていきます。24時間アクセス可能な窓口として、沖縄県公文書館ホームページ「ねっとOPA」をぜひご利用下さい。



県内外の資料保存機関等の関連サイトです。

交通案内、行事案内などすぐに確認したい情報はこちらからどうぞ。

携帯電話から利用案内が確認できます。

イベント案内などをお知らせします。

新規に公開する資料を紹介します。

<http://www.archives.pref.okinawa.jp>



特徴1

**利用案内
を充実しました**

公文書館への行き方、利用案内や資料の利用方法を充実しました。

また、みなさまからよくお寄せいただくご質問にお答えする「よくある質問」も追加しました。



「利用案内」の画面

特徴2

**所蔵資料の概要
を追加しました**

公文書館所蔵資料の解説を随時追加しています。

どのような資料があるかを確認したい場合はこちらへどうぞ。



「所蔵資料の概要」の画面

特徴3

**公文書館通信
を追加しました**

従来からのサービス「オンデマンド講演・講座」、沖縄戦関連映像「ストリーミング映写会」の動画配信、「刊行物」のダウンロードサービスに加えて、公文書館の日常などを紹介する「業務日誌」を追加しました。公文書館活動の今が見えるコンテンツです。ぜひチェックしてご覧ください。

また、所蔵資料をテーマに沿って紹介する「バーチャル展示会」も必見です。



「公文書館通信」の画面

特徴4

**県職員HP
を追加しました**

公文書館は、保存期間満了後に廃棄決定した沖縄県の公文書の中から、将来歴史的に重要となる公文書を保存し、利用に供する役割があります。「県職員HP」は、公文書保存への理解を深め、公文書がより適切に将来の世代へと手渡されるよう、県職員と公文書館の双方向のコミュニケーションを図るためのページです。



「県職員ホームページ」の画面

**「所蔵資料の検索閲覧」
も随時情報を追加しています**

従来からのサービス「所蔵資料の検索閲覧」には、随時情報を追加しています。「所蔵資料の検索ARCHAS21」を始め、戦中戦後の5万8千枚余りの沖縄の写真資料、琉球政府と沖縄県公報、琉球立法院本会議録などの検索・閲覧ができます。



「所蔵資料の検索閲覧」のトップ画面



「所蔵資料検索 ARCHAS21」の画面



「琉球政府組織図」の画面



「琉球政府公報」の画面



「沖縄県公報」の画面



「写真が語る沖縄」の画面

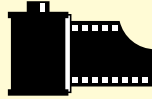


「琉球立法院本会議録」の画面

※今後新たな情報も追加していく予定ですのでご期待下さい。

あの日のおきなわ

Okinawa of that day



～琉球政府関係写真資料より～

1899年、初めての移民がハワイへ渡ったのが沖縄における海外移住の始まりです。ブラジル、アルゼンチンへの移住は1908年、笠戸丸に乗船した325名が第一陣となりました。

困窮する生活、雄飛志向、そして米軍用地確保のための政府方針など、戦後沖縄の事情をも反映し、多くの県民が故郷を後にしました。移住先では幾多の苦労を重ねましたが、年月を追うごとに活躍の場を広げていきました。その一方、沖縄県系人としての活動も活発に行っています。ブラジル、アルゼンチン両国では今年、移民百周年を盛大に祝います。



1968年2月19日、ポイスペン号でブラジル・アルゼンチンへと渡る79人とそれを見送る人々。那覇港にて。
【写真番号02952】



1965年5月12日、来沖したブラジルの沖縄移民一世の人々が当時の松岡政保行政主席を訪れた際の一枚。
【写真番号016766】



1967年5月14日、第一回ブラジル移住者の金城盛吉さん、鳥袋カマさんが移民功労賞を受賞したときの様子。若くして沖縄を離れブラジルで60年近い歳月を生きてこられたお二人に未だ米軍の統治下の郷土の姿はどのように映ったでしょうか。
【写真番号023942】



1967年10月2日、中南米訪問中の松岡行政主席がアルゼンチンを訪問した際の一枚。在垂沖縄連合会による歓迎会にて。郷里の代表を暖かく迎える思いは今日も変わりません。
【写真番号020391】

Q 申請書はファックスで送ってもいいですか？

A いまですし、公文書館ホームページからもプリントアウトできます。「利用案内」各種申請資料の使用許可等について「ページ」に「出版物等掲載許可申請書」をPDFファイルでご用意していますので、お使いください。

Q 申請用紙はどこで手に入りますか？

A 公文書館が米国立公文書館から収集した写真や、琉球政府広報課撮影写真などについては、閲覧室で出版物等掲載許可申請を受け付けています。まずは閲覧室でご相談ください。

Q 公文書館でいい写真を見つけたので、今度出版する予定の本に掲載したいと思いますが、どうすればいいですか？

A まず、使いたい写真の著作権や版権が誰にあるのか確認してください。著作権者等がいる場合、公文書館では出版物等への掲載について許可することができません。

閲覧室

Q & A

資料を本に掲載したい、テレビ番組で使いたい…。そんなときに必要な出版物等掲載許可申請についてご案内します。

出版物に掲載するほか、テレビ番組で使用する、インターネットで送信する、展示する、無料で上映するといった場合にも、出版物等掲載許可申請が必要です。申請書の記入方法や受付に関しては公文書館閲覧室（〇九八八八八八三七五代）、審査基準等の許可事務に関しては総務部総務私学課文書法規班（〇九八八八八六二〇七四）にお問い合わせください。

A フォックスでは受け付けられません。必要事項を記入し申請者の印を押しした原本を送っていただくか、直接閲覧室までお持ち下さい。カウンターで記入方法等もご案内します。

A 許可は公文書館長ではなくて知事が行います。申請は公文書館指定管理者を経由して知事に提出され、総務私学課が審査をして申請者に通知します。総務私学課では、申請書を受理した日の翌日から起算して二週間を標準として処理するということですので、十分な期間を考慮して申請してください。

A 本に掲載なさるのでしたら、出版計画の時点でご相談ください。なおお勧めします。

Q 申請すれば許可はすぐおりののでしょうか？

A 申請用紙はどこで手に入りますか？

Q 申請書はファックスで送ってもいいですか？

Q 閲覧室でいい写真を見つけたので、今度出版する予定の本に掲載したいと思いますが、どうすればいいですか？

Q 申請用紙はどこで手に入りますか？

Q 公文書館でいい写真を見つけたので、今度出版する予定の本に掲載したいと思いますが、どうすればいいですか？

4月から7月まで、館外を含めて公文書館はこのような行事を開催しました。

映画会 記録された映像にみる 「沖縄戦」を考える

6/22(日)



新規公開沖縄戦関係映像資料を約二十二分に編集、無声(カラー)のフィルムに、真和志高等学校放送部の皆さんにナレーションをお願いしました。
参加したお年寄りの方々は、時々涙ぐんだり、ため息をつくなど当時のことを思い出された様子でした。
また、真和志高等学校インターメディア部の皆さんによる沖縄戦をテーマにした作品も展示され、参加者の興味を引いていました。

講座

6/25(水)・7/2(水)

沖縄アイデンティティとは何か I・現状と構造 II・過去と未来

林泉忠(琉球大学准教授)



林泉忠氏

東アジアと沖縄のアイデンティティ比較、世代によって異なり、時代とともに変化するアイデンティティ意識など、様々な角度から沖縄人の意識についてお話しいただきました。

遠方から参加された方、熱のこもった質問など、このテーマに対する関心の高さがうかがえました。

大学生のためのアーカイブズ講座 3名桜大学 7/7(月)

昨年の沖縄国際大学に続き、名桜大学総合研究所との共催でアーカイブズ講座を開催しました。



公文書館の様々な機能とそれらを果たすための専門員の必要性、ホームページを含む公文書館の利用法などを紹介しま

した。

図書館ギャラリーでは、米軍作成の沖縄戦作戦地図や名護に関する写真や公文書によるミニ展を開催。また沖縄戦の映像を上映、公文書館のいろいろな側面に触れていただきました。

業務報告

平成十九年度に公文書館へ 引き渡された文書

沖縄県公文書館は、保存期間が満了し、廃棄の決定がされた沖縄県の公文書を受け入れています。平成十九年度は、三、〇七九点の文書の引渡しがありました(表)。特筆すべきこととしては、監査委員事務局、人事委員会事務局、病院事業局から初めてとなる引渡しがあったことが挙げられます。
沖縄県公文書館は、受け入れた文書の中から、将来歴史資料として重要となるものを評価・選別し、整理・公開します。今後、沖縄県の公文書がより良く将来へ残されるよう、幅広い県機関からの文書受入れに務めます。

部局	数量
知事部	2862
(知事部内訳)	
知事公室	(32)
総務部	(74)
企画部※	(337)
文化環境部	(111)
福祉保健部	(666)
農林水産部	(71)
観光商工部	(575)
土木建築部	(930)
出納事務局	(66)
教育委員会	8
監査委員事務局	177
人事委員会事務局	28
病院事業局	4
合計	3079

※宮古支庁及び八重山支庁文書は企画部に含まれる。

部局名	部名	主管課名	数量
知事部	土木建築部	道路街路課	41
知事部	土木建築部	道路管理課	14
知事部	土木建築部	河川課	23
知事部	土木建築部	海岸防災課	8
知事部	土木建築部	港湾課	58
知事部	土木建築部	空港課	5
知事部	土木建築部	都市計画・モノレール課	64
知事部	土木建築部	下水道課	1
知事部	土木建築部	建築指導課	79
知事部	土木建築部	住宅課	47
知事部	出納事務局	施設建築課	355
知事部	出納事務局	新石垣空港課	1
知事部	出納事務局	出納事務局会計課	65
知事部	出納事務局	出納事務局物品管理課	1
教育委員会	教育庁	県立図書館	8
監査委員事務局	監査課	177	
人事委員会事務局	総務課	28	
病院事業局	県立病院課	4	

部局名	部名	主管課名	数量
知事部	農林水産部	糖業農産課	53
知事部	農林水産部	畜産課	6
知事部	農林水産部	村づくり計画課	94
知事部	農林水産部	農地水利課	44
知事部	農林水産部	農村整備課	42
知事部	農林水産部	森林緑地課	17
知事部	農林水産部	水産課	32
知事部	農林水産部	漁港漁場課	36
知事部	観光商工部	産業政策課	75
知事部	観光商工部	商工振興課	27
知事部	観光商工部	経営金融課	22
知事部	観光商工部	企業立地推進課	3
知事部	観光商工部	情報産業振興課	1
知事部	観光商工部	雇用労政課	18
知事部	観光商工部	観光企画課	7
知事部	観光商工部	観光振興課	12
知事部	観光商工部	交流推進課	41
知事部	土木建築部	土木企画課	9
知事部	土木建築部	技術管理課	60
知事部	土木建築部	用地課	138

部局名	部名	主管課名	数量
知事部	文化環境部	平和・男女共同参画課	8
知事部	文化環境部	県民生活課	34
知事部	文化環境部	環境政策課	8
知事部	文化環境部	環境保全課	22
知事部	文化環境部	環境整備課	21
知事部	文化環境部	自然保護課	5
知事部	福祉保健部	福祉保健企画課	42
知事部	福祉保健部	福祉・援護課	134
知事部	福祉保健部	高齢者福祉介護課	40
知事部	福祉保健部	青少年・児童家庭課	51
知事部	福祉保健部	障害保健福祉課	169
知事部	福祉保健部	医療・国保課	43
知事部	福祉保健部	健康増進課	164
知事部	福祉保健部	業務衛生課	18
知事部	福祉保健部	中央保健所	5
知事部	農林水産部	農林水産企画課	16
知事部	農林水産部	流通政策課	13
知事部	農林水産部	農政経済課	40
知事部	農林水産部	営農支援課	2
知事部	農林水産部	園芸振興課	45

部局名	部名	主管課名	数量
知事部	知事公室	秘書課	2
知事部	知事公室	基地対策課	5
知事部	知事公室	返還問題対策課	2
知事部	知事公室	防災危機管理課	23
知事部	総務部	総務私学課	33
知事部	総務部	人事課	29
知事部	総務部	職員厚生課	4
知事部	総務部	財政課	5
知事部	総務部	税務課	1
知事部	総務部	管財課	2
知事部	企画部	企画調整課	10
知事部	企画部	交通政策課	8
知事部	企画部	土地対策課	25
知事部	企画部	統計課	1
知事部	企画部	情報政策課	6
知事部	企画部	地域・離島課	12
知事部	企画部	市町村課	58
知事部	企画部	宮古支庁	78
知事部	企画部	八重山支庁	139
知事部	文化環境部	文化振興課	13

行事案内

開催日			
H20年4月1日(火)～9月28日(日)	第1回 常設展「移民」		公文書館展示室
10月7日(火)～H21年3月29日(日)	第2回 常設展「キャラウェイ旋風」		公文書館展示室
8月27日(水) 15:00～16:30	講演会「どう変わる？国・地方公共団体の公文書管理－公文書館制度の充実に向けて」	講師：梅原康嗣 (独立行政法人 国立公文書館 公文書専門官)	沖縄県庁 4階講堂
10月22日(水) 18:30～20:00	講演会「グスクから語る沖縄経済社会」	講師：北原秋一 (前おきぎん経済研究所 代表取締役社長)	公文書館講堂
10月29日(水) 18:30～20:00	講演会 「沖縄の誇り 美ら海」	講師：金城浩一 (非営利活動法人アクア プラネット理事長)	公文書館講堂
11月5日(水)～ 11月16日(日)	移動展「タイムトリップ八重山：沖縄県公文書館収蔵資料で振り返るあの頃」		石垣市立 図書館展示室

★いずれも入場無料です。申込みは必要ありませんので直接会場にお越し下さい。

利用案内

入館料 無料

開館時間 午前9時から午後5時まで(閲覧申請は午後4時30分まで)

休館日 月曜日 国民の祝日である休日、慰霊の日、年末年始12月29日～1月3日
土・日は国民の祝日及び慰霊の日でない限り開館しています。

- ・開架資料やビデオ、空中写真は閲覧申請なしで利用していただけます。
- ・書庫の資料を閲覧する場合は「利用証」が必要となります。利用証作成には、現住所が確認できる身分証明書(免許証や保険証など)の提示をお願いします。利用証は発行から一年間有効です。
- ・閲覧中の筆記には鉛筆を使用して下さい。
- ・鞆や袋類はロッカーにお預け下さい。(百円硬貨が必要ですが使用後は返金されます)
- ・原則として資料の館外貸出はできません。閲覧及び複写でご利用下さい。複写は実費が必要です。

交通案内



バスのご案内

- 那覇バス(株)
1・2・3・5・15番線→新川営業所下車1分
- 東陽バス(株)
91番線→新川バス停下車1分

訂正

公文書館だより『Archives』第34号の業務報告「ベッテルハイムの日記の補修」で「1854年の書簡綴り」とあったのは「1845年」の誤りでしたので訂正いたします。



総会の様子



友の会総会を開催!
TOMONOKAI

沖縄県公文書館友の会は、平成十二年に発足以来、公文書館の心強いサポーターとして活動してきました。近年は、勉強会等の企画に多くの会員が積極的に参加しています。去る六月七日には、友の会の総会が開催され、今年度の事業計画等が満場一致で決まりました。総会に先立ち、島守の会制作の映像資料『島守の塔』と、昨年の歴史巡見ツアーの映像記録を鑑賞し、総会後には懇親会も催され、会員同士の親睦を深めることができました。友の会の会員も年々増え、現在二四〇名を超えています。今年度は、戦後行政の総集編として沖縄民政府から群馬政府、琉球政府の時代をテーマにした勉強会及び歴史巡見ツアーや、各種ボランティア活動などの計画があり、ますます活動の輪を広げていきます。